

令和5年度
一枝のゆめ財団研修生選考試験

問 題

日 時：令和5年2月5日（日）

9：20～10：50

場 所：METS 赤羽第2会議室

I 小論文

目指したい臨床家像を 600 字以内で書きなさい。(100 点)

II 専門科目

問題 1 関節の構造と機能に関する 1～8 の文について、正しいものに○、誤りに×を付けなさい。(24 点)

1. 肩甲骨に起始する筋肉は全て上腕骨に付着する。
2. 肩甲下筋に短縮があると肩関節の外旋運動を制限する。
3. 胸鎖関節は多軸性の構造になっている。
4. 上腕骨小頭は前腕の回外・回内運動に関与する。
5. ヒラメ筋は膝の屈曲運動に関与する。
6. 椅子に座る動作の主動筋は大腿後側筋群である。
7. 梨状筋が短縮すると股関節の内旋が制限される。
8. 大腿直筋が短縮すると股関節の屈曲が制限される。

問題 2 動脈拍動の触診部に関する 1～4 の文について、正し

いものに○、誤りに×を付けなさい。(12点)

1. 橈骨動脈は橈側手根屈筋腱の橈側で触れる。
2. 上腕動脈は上腕二頭筋腱の外側で触れる。
3. 足背動脈は長趾伸筋腱の外側で触れる。
4. 大腿動脈は腸腰筋の内側で触れる。

問題3 ヤーガソン・テストに関する1～5の文について、正しいものに○、誤りに×を付けなさい。(20点)

1. 患者に前腕の回外運動を指示する。
2. 肘は屈曲位でも伸展位でもかまわない。
3. 回内方向に加えた術者の力に逆らうよう、患者に指示する。
4. 烏口突起部に痛みが出れば陽性とする。
5. 陽性所見を認めれば上腕二頭筋長頭腱の炎症を疑う。

問題4 トーマス・テストに関する1～5の文について、正しいものみ○、誤りに×を付けなさい。(20点)

1. 患者背臥位で両膝を深く抱え込む姿位(トーマスポジション)をとらせる。

2. トーマスポジションでは腰椎の伸展位が保持される。
3. この姿位から一側の下肢を自動的に伸展させる。
4. 股関節に屈曲位が認められれば陽性とする。
5. 陽性所見を認めれば腸腰筋の筋力低下を疑う。

問題5 次の各問いに答えなさい（24点）

- 1, 骨粗鬆症で生じる骨折の好発部位を2つあげよ。
- 2, 末梢性顔面神経麻痺の回復過程で見られる後遺症を2つあげよ。
- 3, パーキンソン病に見られる運動障害を2つあげよ。
- 4, 関節リウマチの手指に見られる変形を2つあげよ。

解答

		1	2	3	4	5	6	7	8
問1	3点	×	×	○	○	×	×	○	×
問2	3点	○	×	×	○				
問3	4点	○	×	○	×	○			
問4	4点	○	×	○	○	×			

問5（各3点）

- 1, 脊椎、大腿骨頸部、橈骨遠位端、上腕骨近位端のうち3つ
- 2, ワニの涙、拘縮、病的共同運動、痙攣のうち3つ
- 3, 震顫、無動（寡動）、筋強剛（筋固縮）、姿勢反射障害のうち2つ
- 4, スワンネック変形、ボタン穴変形、オペラグラスハンド変形、尺側偏位のうち2つ